

最大19度の低減効果

低炭素
舗装材実証

中間報告会

大成ロテック

大成ロテックは、「令和7年度脱炭素・クールダウン都市開発推進事業」の採択を受けて実施した都市景観と緑地に親和性が高い低炭素舗装材

料「CFミックス」による路面温度低減効果実証事業に関する中間報告会で、都市の脱炭素とクールダウンを両立する新技術の測定結果を公表し

た。カーボンストックと都市暑熱対策の知見を基に、都市空間での環境性能の向上と歩行空間適性を両立する実証を進めていく。

CFミックスは、水産業の未利用資源であるホタテの貝殻や間伐材由来のリグニンなど、自然由来の素材を活用したもので、成長過程でCO₂を吸収しており、舗装材として

使うことで、都市空間での炭素貯蔵を実現する。

実証では、従来のアスファルト舗装のほか、CO₂を固定する新技術を使ったインタローッキングブロック、放置された竹林由来の竹チップを配合した土系の舗装など、多数の材料サンプルを首都高速道路KK線跡地に設置し、各舗装の表面温度を比較測定した。CO₂固定型ブロックと竹チップ入り舗装は、従来舗装に比べて最大約19度の温度低減効果を確認した。

同事業は、国土交通省都市局の補助を受けて進めているもので、都市空間のCO₂排出量の削減と、夏季の酷暑環境の緩和を両立する新技術の開発・実証を目的とする。特に、歩道や広場など建築外構空間に着目し、持続可能な都市デザイン・まちづくりに貢献する技術開発を目指す。



効果測定状況の視察

